

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 12 月 1 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200445		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 五日市八幡		
所在地	広島県広島市佐伯区八幡五丁目16番10号 (電話) 082-927-8400		
自己評価作成日	令和4年8月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200445-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200445-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年11月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

個人の意思に沿った介護をめざし、季節感を持って美味しく食事が出来、楽しみを持って生活していただけるよう園芸や日々のレクリエーションを提供しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者一人ひとりに目を向け、その方がどのような暮らしを望まれているのか紐解き理解を深めていき、個人の尊厳を重視し丁寧な声掛けやケアに努め、笑顔と思いやりのある支援を実践している。日々の活動やふれあい、ゆったりできる環境など踏まえ、利用者が生きがいを持って、やすらげる場所として理念に即した暮らしの提供を行っている。コロナ禍であり、外出や地域との活動も難しい中、事業所内で行事を増やしたり、食事では季節の野菜を織り交ぜ提供したり、誕生日会には好みのもや料理を豪華に振る舞うなど、食を通して楽しみを充実させている。なるべく外に出られるようにと毎日の散歩など、意識的に行っている。毎月の避難訓練をはじめ、消防署との協力や災害への対策、備蓄など有事への備えもしている。

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	長引くコロナの状況で地域との繋がりをもちにくい事情はありますが理念は共有し意識を持っています。	理念は事務所に掲示し、朝礼時に唱和し日々確認を行っている。職員は利用者一人ひとりに目を向け考えること、笑顔や思いやりを持ち支援に努めており、生きがいに繋がる理念を体現化した支援を実践している。職員個々がその日に行う目標を明確化し目的を持ち取り組んでいる。	理念の唱和は行われているが、その他の理念を深め、職員が身に付けていける取り組みや機会が数少ないように見受けられます。理念である「生きがい」を言語化して考えていけること、定義づけがなされる取り組みを増やし、一層の理念の共有を深めることとなるよう期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響でなかなか地域との交流が出来ていない現状ですがご近所や地域の方と挨拶、会話ができるよう努めています。	日常の近所づきあいとして散歩中の挨拶や会話、声を掛けることなど地域住民と身近な関係性を築いている。町内会にも加入しており、コロナ禍で地域の行事や活動は自粛が続く中、回覧板にて地域の情報を得ており、地域清掃に参加したりとできる活動を共にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在コロナウイルスのため機会がないためほとんど出来ていない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナの影響で運営推進会議が開催できず文章だけのやりとりとなっておりますが意見を送って下さっている地域の皆様家族様の意見をとりいれております。	家族や地域包括支援センター、認知症地域支援推進委員をはじめ、町内会長やささえ会会長、民生委員など地域住民の関わりも多く会議を展開し、情報・意見交換を行っている。現在は感染症対策にて全て書面での開催としており、資料やほのぼのの通信にて活動報告を行い周知している。	事故やリスクの現状とそれに対する取り組みを積極的に報告することで、家族を含む関係者に、より事業所の取り組みに対する理解が深まることを期待します。併せて、情報開示することで、職員の取り組みも緊張感をもった一層合理的な取り組みとなることを期待します。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	2か月に1度の運営推進会議もコロナウイルスのため開催できていない状況ですが文面での報告やご意見を頂いております。なかなか積極的には出来ない現状です。	通常、市の主催する研修へ参加や運営推進会議で地域包括支援センターと意見交換を行い、地域情報の共有や意見交換などにて関係を深めている。現在はコロナ禍にてその機会は減っている状況であるが、その中において極力関わりを持つことが大切と考え、取り組みの意欲を持っている。	

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年2回の身体拘束をしないケアの実践の勉強会を行いました。身体拘束適正委員会を3か月に1回開き自分たちのケアが身体拘束に当たっていないか話し合いを行っています。当施設でよく話し合うのはスピーチロック、ドラッグロックがあります。	年間の研修や身体拘束適正委員会の活動、日々の業務の中でも随時話し合い身体拘束をしないケアを確認し理解を深めている。日頃のケアが身体拘束に該当しないかお互いに声を掛け合いながら確認している。毎月虐待の芽チェックリストにて振り返り日々の支援に反映させている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月の虐待の芽チェックリストをスタッフに記入してもらい虐待に対する意識を持つように話し合っています。声掛けや態度での虐待を自覚しあい入居者様に圧をかけないように努めています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年間の勉強会に取り入れてスタッフは周知できるよう努めているが現在活用はされていません。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の前に事前説明を行い不明な事、不安な事相談等を入居時入居後も何度も説明させていただいています。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議がコロナウイルスのため開けていないが意見、要望は電話と来苑時に常時承っています。	感染症対策を講じることで面会規制が続く中、家族より差し入れの質問に、できることを伝え持参したことで家族との繋がりを感じられる機会の継続となっている。持参したパッドを直に床に置かない依頼に徹底し取り組んでいる。利用者から食事や外出の希望にできる限り取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1度(第3月曜日)のスタッフ会議を行い社長 統括施設長に同席のもと意見を聞く機会を設けています。</p>	<p>毎月の職員会議や日々の業務にて随時意見交換を行う他、日常的に管理者に意見を伝えやすく、職員の意向が表出しやすいよう配慮している。法人本部にも適宜管理者から提案し検討が図られている。早出や遅出の業務内容の見直しや分担を決め担当を見直すことで負担軽減に繋げた事例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>会社は毎年の給与の見直し、処遇改善等の努力をしています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内の勉強会、また外部の研修(現在はリモート)が受けられるように配慮されているがなかなか難しい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在はコロナウイルスの感染対策のためなかなか機会がない。リモートが出来る環境が整っていないこともある。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者様の多くは帰宅願望がある方も多くスタッフが親切に声掛けを行うことで安心して苑の生活に慣れていただけるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族のストレスや不安を聞くことで家族の気持ちを理解し受容することに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族のお話と入居前の居宅のケアマネジャーや病院の医療連携室の相談員さんから情報を頂き必要とされている支援を見極めさせていただいています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人のしたい事できる事の一部で食事の下ごしらえや洗濯たたみなど一緒にしていただいています。職員は感謝の言葉を伝えています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人にとっての困りごとまた協力して頂けることはご家族に相談、お願いして介護の仕方、病院との関わりも必ず家族と相談の上行っています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>現在はコロナウイルスの感染対策のため外出が制限されているが大切な方との電話の取次ぎ窓越しの面会、リモートでの面会を行ったり写真等を通じて支援を行っています。</p>	<p>直接ふれあえる面会が難しい中、今まで通って面会に来られる方に窓越しでの面会やリモートで繋げたり、電話での連絡を取り次ぐなど関係継続の支援を実践している。日々の中でも会話から昔を思い出せるきっかけを作るなど、馴染みの関係を繋ぐ働きかけを意識的に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の性格や相性を考慮して食事、レクリエーション等の席をある程度決めさせていただいています。孤独にならないように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族からの退去後の報告やご相談も頂くことがありますが入居されていた時と同じように誠意を持って対応させていただいています。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人の思いを尊重しご自分のペースで生活できるように支援しています。行事やレクリエーションの参加も強要せず本人の意志を持って参加していただいています。	一人ひとりの思いや暮らし方は日々のケアの中で本人の思いを把握し、ケアプラン作成時に確認し意識している。随時経過記録に記載し職員全員で共有している。本人でなかなか思いが表出できない方へは仕草や表情、職員の気付きから汲み取ることや家族に確認を行い把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族聞き取りをしたことまたは入居前の居宅、医療連携室からの情報をスタッフ間で共用しセンター方式を利用し色々な角度からその方を理解しようと努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝のミーティングで夜勤者、日勤者、ナースからの申し送りを行い利用者の体調、心情の変化を話し合い、記録をすることで把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の意向、家族の意見を聞きケアプランを作成しスタッフからの評価で見直しをしています。またスタッフの意見からケアプランを考えるようにしています。</p>	<p>職員から日々の様子など情報を集める他、モニタリングも管理者と職員で行い、見直しを含め意向や現状を反映させ計画作成者が作成し同意を得ている。実施する中、改善が必要となれば再アセスメントを行い計画を見直している。主治医の連携も必要に応じカンファレンスを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録は毎日記入し様子を把握しているまたとくに変わったことがあれば各ユニットのノートに記入し出勤したスタッフが把握できるようにし意見を出してもらっています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>コロナウイルスの影響で外出できなかったり外からのボランティアも受け入れが出来ていない状況なので難しい。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>出来るだけ地域資源の活用をしたいとは思っているが機会が少ない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必ず本人、家族の希望で往診医、またかかりつけ医から医療が受けられるように相談し支援しています。なじみの病院にはご家族と受診されています。</p>	<p>利用開始以前からのかかりつけ医も継続できることを基本とし、本人、家族に確認しながら主治医を決定している。協力医では月2回の定期的な訪問診療があり、必要時の往診や夜間にも随時連携が行える体制や、指示のもと専門科への受診に繋げるなど安心して医療を受けられるよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	体調に異常、変化があれば看護師と相談し家族に報告し相談をして受診したり往診医からの指示を仰いでいます。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院、退院時には必ず病院から情報交換を行い主治医とも連携して退院の調整をしています。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	苑でできる事を説明し家族とまた主治医とも話し合っています。状態が変わったときも都度話し合いをしています。細やかに連絡をとるように努めています。	利用開始時に重度化した場合における対応に関する指針を説明し意向を確認している。看取りへの実践はまだ多くはないが、今年度は1件行っている。必要に応じ医療へも繋げるが、看取りの希望も多くある傾向にて今後も最期までの支援が行えることが増やせるよう研鑽に意欲を持っている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時はナースをはじめ勉強会を行いマニュアルを事務所に提示しています。緊急の連絡先を個人のファイルに提示しています。迅速な対応ができるように話し合っています。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月の消防、防災、水害の避難訓練で利用者に参加いただき避難訓練を行っています。地域の消防署からも消火訓練等協力を頂いています。	毎月、防災や水害など避難訓練を実施している。事業所は水害や土砂崩れの危険地域エリアであり、避難経路の確認やライフジャケットを実際に着用した訓練を行っている。必要な備蓄品を揃え、プロパンガスの発電機も毎年手順の確認を行うなど有事に備えて意識を持って実践している。	



自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	目上である利用者様に丁寧な声掛けを行うようにしています。言葉使いをスタッフ同士が注意しあうようにしています。	丁寧な言葉遣いを意識し、人格を尊重した対応を心掛けている。虐待の芽チェックリストなどにて話し合い、実際の声掛けなど確認し合っている。入室時の声掛けや入浴、トイレ時に扉を閉めることなど基本を忠実に意識して日々支援している。書類も鍵付き書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入浴や排泄、レクリエーション、就寝時間等、無理強いせず、本人の意思を確認しながら声掛けをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事時間や起床時間等 声掛けを行うが本人の意思で無理強いせずご自分のペースで過ごしていただくように支援しています。リビング、居室は自由に過ごされています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で洋服を選んで着られたりお化粧をされている利用者様もいらっしゃいます。ご家族と相談して必要なものを持ってきていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の食材を取り入れて時にはリクエストも頂きながら下ごしらえ等手伝っていただいています。お盆拭きをご自分の仕事にされている入居者様もいらっしゃいます。	調理補助職員を配置し、当日に献立し食事を提供している。利用者リクエストにも応えやすく、季節の食材の取り入れや、苑の畑で収穫した野菜などを調理し食卓にあがることで、栽培や収穫の楽しみに触れることができ、下ごしらえの手伝いなど利用者の活躍を通して食を提供している。	

自己評価	外部評価	項 目( 西ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日の食事量、水分量チェックして記録しております。また食事形態 食事量 器具も個人で食札に記入してスタッフが分かるようにして提供しています。食事以外に 10時にはコーヒー等15時にはおやつと飲み物を好みに応じて提供しています。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、利用者様に一人一人声掛けを行い口腔ケアを行っています。ご自分でできる方はご自分でいただいています。個々に合わせて入歯の消毒をしたりケアをしています。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のチェックを毎日行い出来るだけトイレでの排泄をしていただくように時間を見て声をかけ必要な方には介助を行っています。昼はほとんどトイレに行かれています。	排泄チェック表を毎日チェックし、その方に合ったタイミングやパターンを把握に努め、個々の状態や状況に沿って支援を行っている。トイレで座って排泄できるを基本とし、布パンツへの移行やパッドの使用など検討を重ね、利用者の個人の尊重に繋がる排泄支援となるよう努めている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便のチェックを毎日行い食物繊維を摂れる食事を配慮したり水分補給を心がけています。また毎日のリハビリ体操を行っています。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	体調や気分を伺い入浴を無理強いせず本人のタイミングを見て声掛けを行っています。午前が良いのか午後が良いのか今日でなくても良いとの具合で入浴して頂いています。	週2回を基本に行っている。入浴を1対1のふれあえる機会とも意図しコミュニケーションや意思疎通を図れる様に意識している。湯に浸かる時間や温度なども個人の好みに合わせて実施し、シャンプーなども好みのものを持参できる。入浴後はボディーミルクなどで保湿も心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中はリビングで過ごされている方が多いですが本人の意志で居室に帰っておられます。就寝も個人の時間があり思い思いに過ごしていただいております。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>個人の薬のチェック表を作成毎日の薬のチェックを行い薬局から出ている説明書をスタッフがみれるようにファイルしてあります。症状の変化はナースに報告しナースから医師に報告しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>コロナウイルスで外出は難しいですがお散歩が出来る方には声をかけて苑の周りを一緒に散歩しています。好きなパズルや塗り絵を提供しご自分からされています。庭の花や野菜の水やりや野菜の収穫など活動もされます。また毎日動揺等の歌を歌われています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在はコロナウイルスのため外出が制限されていて苑の周りのお散歩くらいしかできていません。</p>	<p>コロナ禍であり主立った外出は行えていない。その状況下にて日々できることに焦点をあて、近隣の散歩で花の観賞や山々の緑や紅葉を楽しみ四季を感じている。畑の栽培や中庭に椅子を出し外の空気にふれながら歌を歌ったり、日常に外や自然を感じながら過ごせるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族がお財布とお金を少額渡しておられる方はいらっしゃいます。現在は買い物に行くことがほとんど行けません。利用者様から頼まれて買い物をすることはあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族や親せきの方の電話はお取次ぎをしております。またご家族に利用者様から電話をかけられる方もいらっしゃいます。携帯電話を所持されている方もあります。お手紙もお渡し、読むことが難しい方には読んで差し上げています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	朝はカーテンを開けて庭の様子が見え日が入るように夜間は静かに休んでいたできるように配慮しております。季節の花や利用者様と壁紙と一緒に作成しています。	両ユニットが中庭に面する建物の造りにて、窓縁側から庭や外の様子を見ることができる。ユニット同士行き来も容易であり、別ユニット利用者の交流も自然に行える環境がある。施設内は広々とした間取りで、ソファーにてくつろいで過ごせる。機能訓練室も様々な用途に活用がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者さん同士が穏やかに過ごせるようにソファーや一人で静かにできる空間を配慮しています。施設内を自由に移動されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人と相談して家具の配置、テレビの位置は決めさせていただいています。家から家族写真や使い慣れたものを持って来られています。	ベッドやチェスト、エアコンが備え付けである。ソファーやテレビなど調度品や馴染みの家具を自由に持参でき、本人、家族と話しながら、その人らしく過ごせる環境づくりを行っている。居室扉にラミネートを施した手作りの表札を掲示し、自身の居室が意識しやすいよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自由にトイレに行かれたりお隣のユニットに遊びに行かれたり通りやすく机の配置をし歩行の障害のないように気を付けています。トイレの表示や居室に表札を付けています。自由に雑誌やパズルを出されています。		

V アウトカム項目( 西ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の理解はしているがなかなか実践につなげるのが難しい。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2月に1回の運営推進会議を行っていたが現在コロナウイルスのため交流する機会がない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在の状況から機会がほぼ出来てない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在コロナウイルスのため運営推進会議が開催できていない状況で文章での報告とご意見を頂いています。意見を真摯に受け止めサービス向上に活かすよう努めています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市佐伯区のささえ会の担当者の方に2か月に1度の運営推進会議の開催が出来ないお知らせと近況報告を書類で送り、意見を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年2回の身体拘束をしないケアについて勉強会を行い3か月に1回の身体拘束適正委員会を開き検討している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月のスタッフ会議前に虐待の芽チェックリストを配布し記入感想と反省を書いている。お互いの言動に注意しあうことに努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年1回の勉強会を行いスタッフに理解できるよう努めている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の事前説明を行い契約前、契約後も何度でも質問や疑問を承り説明させていただいている。改定などの通達は本社から文章を送って質問を承っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議で意見、要望を聞く機会を設けている。入居時に苦情申し立ての窓口の紹介はしている。ご家族からご意見要望があれば迅速に出来る範囲で対応させていただいている。		



自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のスタッフ会議で機会を設けているが常時スタッフの意見は聞くように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	4月に給与、処遇改善などの考慮はしている。月1回の介護会議を開催されていて職場の環境、施設での困りごと等相談して改善できるよう対応している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設での勉強会を開催している。外部研修はコロナウイルス感染の拡大のためリモートでの研修となっている。外部研修の機会が減っているのが現状。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナウイルスのため活動が出来ていないのが現在の現状です。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフは情報を共有し声掛けに気を付け本人が安心して施設に馴染めるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の困っている事 本人の心身の様子を聞き取りを行い過去のエピソードを交え安心していただけるよう話をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族の話から本人が出来ている事、本人、家族が困っている事、支援が必要な事の見極めを行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご自分で出来る事、手伝っていただけることは無理のない範囲でお願いしている。役割を持って生活して頂けるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人の心情、状態に変化があったり困ったことはを家族に相談し、理解、協力 していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在コロナウイルスの為面会、外出が制限されており不自由をおかけしているが電話の取次ぎやガラス越し面会、リモートでの面会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	昼間はリビングで過ごされる方が多く利用者同士が自由にお話をされている。気の合う利用者様同士の席を配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後に連絡を下さるご家族がおります退去後も変わらず今迄通りの関係を継続しております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ本人の思いをくみ取れるように意志を聞いています。強制しないように支援させていただいています。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人または家族から昔の話や生活を引出しスタッフ間で共有し理解するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	出来るだけ本人の気分やペースで過ごせるように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>施設内なので出来ることは限られるが本人、家族の気持ちを第一として支援していくように努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の介護記録、申し送りノート朝のミーティングを活用し利用者の状況、変化をスタッフが把握でき、意見を出している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>コロナ禍における施設内のサービスなので多機能化は難しいがチャンスがあれば取り組んでいきたいと思っています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍なので地域資源の利用が難しい地域とともに生活できる支援を行いたいと思っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診、往診医は入居前に事前相談をして希望に沿ったように決めさせていた。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の生活の中で利用者の変化や異変に気づきナースと相談して家族、主治医に相談して対応させて頂いている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には情報交換を必ず行い入院中、退院時も家族・主治医とも連絡をとって調整させて頂いている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した時、看取り希望があった時、状態が変わった時、何度も話し合いを重ねてご家族、施設間での出来ることと医療の必要を検討し支援している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ナースを中心に応急処置、救急搬送の目安、連絡と連携を学習している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災委員会を中心に毎月いろんな災害の避難、防災訓練を企て実施している。佐伯消防署に協力して頂き訓練の実施を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	本人の気持ちを尊重し、施設の生活が居心地の良いように声掛けや介助に気を付けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	意思表示のはっきり出来る方はもちろん意思表示の難しい方にも表情や動きから意思を確認し自己決定が出来るよう支援している。レクリエーション、手作業等の参加の意志や衣類などの選択等。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間、就寝時間の声掛けを行うがご自分のペース、希望で時間の融通を利かせている。自分のしたい事、本を読まれたり新聞を読まれたり、テレビを観たり思い思いに過ごされている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で着られる衣類を選んで着られたり訪問の理美容では好みのカットを希望されたりヘアカラーをしていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は季節の野菜を取り入れた簡単な下ごしらえ、テーブル拭き お盆拭き等手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事のバランスを考えて食事形態も個人に合わせたものをお出ししています。食事量水分量のチェックを行って適切な食事量が摂れるように援助しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食時後、声掛けを行い口腔ケアを行っています。ご自分で歯ブラシを使われる方、入れ歯の洗浄を介助で行う方と本人に必要な自立支援をしています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>昼夜問わずほとんどの方がトイレで排泄が出来るように支援しています。トイレの間隔が人により違いますので時間を見計らった声掛け誘導に努めています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食物繊維を摂れるよう配慮し朝食にはヨーグルトを毎日お出ししています。また水分を摂っていただくようにコーヒー、紅茶、ジュース、イオンドリンク等提供しています。また毎日梅干し体操(リハビリ体操)も推進しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>気持ちよく入浴して頂けるように体調や気分を伺い声掛けをしています。拒否される時もありますが無理強いないように日や時間を改めて入浴できるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	休憩したい時に居室で休めるよ うに支援しています。夜間の就寝 時間もまちまちで居室で寝転ん でテレビを観られる方、リビング でパズルをされる方と時間の使 い方も一人ひとり違っていま す。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	看護師、介護士の薬の名前、数 量のダブルチェックを行い薬への 意識を持っています。スタッフが 見られるように個人ファイルに 服用されている薬の効能、副作 用の説明書きをファイリングし ています。症状の変化や異常があ ればすぐナースに報告しナース からドクターに相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	1日の生活で他利用者、スタッ フと関わりを持ちテレビを観た り、手作業をされたり協力して パズルを完成させたり塗り絵を されたり、掃除をしていただいた りと思い思いに過ごしていただ いています。また苑庭の花や野菜 をご覧になられたり収穫され たり散歩をされたり気分転換を 図っています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	コロナウイルス拡大のため家族 との外出が制限されています。気 候の良い時期、時間に苑の周り を散歩する程度の外出しか出来 ていません。春にはお花見ドラ イブをしました。紅葉の季節にも ドライブを楽しんでいただこう と思います。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	家族の同意のもと少額のお金 を所持されている方はおられま す。お金を持っていないと不安 な方もいらっしゃいます。現在 はコロナ寡なので買い物に行く ことが難しいですが本人から買 い物を頼まれることもあり代行 しています。(少額の物)		



自己評価	外部評価	項 目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族、親せきからの電話を取り次いだりお手紙の受け渡し、利用者様から希望があれば家族等に電話をかけています。希望者にはアイホンを使ったリモート面会も行っております。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者様が心地よく生活できるように配慮しています。高齢者に適したエアコンの温度、明るさまた季節の花や壁紙を飾っています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングのソファやテーブル席を自由に使ってもらっている中の良い入居者様同士が話を心行くまでされています。独りになれる席も配慮しており混乱されたり不穏な時に落ち着いていただいています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人の使われていた馴染の物をご家族に持参頂きご自分の好きな配置で過ごしていただいております。また家族のお写真も飾っていただいております。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内は手すりがあります。またバリアフリーで車椅子で自操が出来ます。障害物がないように気を付けています。ユニットの移動も自由にされ別ユニットの友人と行き来されています。</p>		

V アウトカム項目( 東ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑五日市八幡

作成日 令和5年1月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設の理念の共有が出来ていない。	施設の理念についてスタッフが理解、共有できる。	スタッフ会議で理念について話し合い意識する。	1年
2	2	コロナ禍における地域との交流の不足。	地域との関りを持つ。	運営推進会議の資料等の送付を直接手渡しをして交流を意識していく。	4か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。